

「グルコサミン研究」投稿規定・執筆要領

1. 投稿・査読等について

2015年5月改訂

- 本研究会の会員（一般会員および賛助会員）は論文を総説、原著等として、研究会誌に投稿することができる。
- 論文の内容は、本研究会の学術集会等で発表されたものを基本とするが、学術集会等で発表されていないものでも、機能性食品に関連する論文の投稿を随時、受け付ける。
- 投稿された論文は、編集委員、その他の専門家によって査読され、掲載の可否が決定される。
- 掲載可となった論文については、著者の申し出により掲載証明書を発行する。
- 論文掲載料については、研究会が定める金額を請求する。

2. 体裁について

- ①タイトル：日本語に加え英語も表記する。
- ②著者名：日本語に加え英語も表記する。所属は肩つき番号で示す。
- ③要旨：1,000文字以内
- ④キーワード：5個程度
- ⑤所属：正式名称を日本語と英語で記す。
- ⑥連絡先：責任著者のみ、住所とメールアドレスを記す。
- ⑦本文：刷り上がりは1頁2,500文字が目安である。
- ⑧引用文献と図の説明（Figure legends）は本文とは別のページに記す。
- ⑨引用文献を登場順に肩つき番号で本文、図の説明に付す。

3. 原稿の送付について

本文、図表をそれぞれのファイルで保存したもの、さらに、それらを pdf ファイルで統合したものをメールで送付して下さい。

4. 用字・用語について

- ①専門用語：わかりやすく表記して下さい。例えば、グルコサミンについては、初出に D-グルコサミン塩酸塩（以下、グルコサミン）とする。
- ②一般用語：常用漢字、現代かなづかいに則る（編集部で統一）。
- ③略語：略語を使う場合は、初出の箇所にフルスペルをカッコ内に付す。
（例）マトリックスメタロプロテイナーゼ（matrix metalloproteinase, MMP）
- ④外国人名：原語表示
- ⑤年次：西暦（特に元号が必要な場合のみカッコ内に表記）
（例）2012（平成24）年
- ⑥用字用語については、統一性をもたせるために編集部にて調整させていただきます。

5. 図表について

- ①写真は解像度の高いもの（Power Point に貼り付ける前の写真データ等）を送って下さい。
- ②図表とも番号を付し、本文の挿入箇所にも登場順に番号を入れる。引用文献があれば表中に番号を付す。

6. 文献について

①表記の仕方

- 雑誌の場合
著者名：論文名、雑誌名、巻数：ページ数（○-○）、発行年

- 書籍の場合

邦文 著者名：書籍名、発行所、ページ数（p○-○）、発行年

著者名：章タイトル、書籍名、編者名、ページ数（p○-○）、発行所、発行年

欧文 著者名：章タイトル、In: 書籍名、編者名（ed）、発行所、所在地、ページ数（p○-○）、発行年

- 著者名は、省略せずすべての著者を入れる。

②引用文献は、本文の適用箇所に登場順に肩付番号（1）、2）、3）を付す。

③図表の典拠・引用も②と同様に肩付番号を付す。肩付番号は、本文・図表を合わせて通し番号とする。

例：1) 北野直子, 稲岡司, 北野隆雄: 施設園芸従事者の労働負担と食物摂取状況について. 栄食誌 48: 21-28, 2004

2) 伊藤通子, 古川勇次, 牧野進: 骨形成異常ラット. 疾患モデル動物. 木村修一, 家森幸男編, p169-195, 建帛社, 2004

3) Knekt P, Aromaa A, Maateta J: Vitamin E and cancer prevention, Am J Clin Nutr 53: 285-286, 2004

4) Wasnich RD: Fracture prediction with bone mass measurements. In: Osteoporosis update 2004. Genany HK (ed), Radiology Research and Education Foundation, San Francisco, pp95-101, 2006